

2018年東北震災復興支援 宮城県石巻 4月13～15日県連自然保護委員会

担当者 瀬下啓司 以下総勢 13名

2019年は4月12日～14日是非参加市体験してみてください

2012年以降毎年恒例となりました。今年は例年に比べ参加者が少なかったが、おなじみの面々
気心がよくわかり和気あいあいと作業を（ホヤの養殖種付けの貝殻のひも通し）現地の人といろい
ろ情報を共用しながらやりきりました。



貝殻のひも通し

14日

バスは夜中走り未明に石巻市内のコンビニで休憩し朝8時に現地谷川浜に着き3班に分かれ、手馴れた手つきで作業を開始する。昼休みを挟んで、ここのカニとホヤ、お魚の心づくしお世話になりました15時30分までの長丁場。やっと解放され、あたご荘に移動し入浴後 お食事タイムその後 懇談会へ



貝殻の穴あけ

15日

桜の満開な高台、当時の避難場所日和山公園へ、ほとんど更地（産業地）で復興はまだ先防波堤は工事中です。そして復興まちづくり情報交流館を見学英国人の館長の日本語による石巻の被災地石巻の様子と将来の展望をパンフ、映像 模型 パネル 話術 等わかりやすく解説する。災害当時 英国大使館に帰国するはずでしたが石巻市に留まり 一生を捧げるとのことです！



貝殻の穴

最後に訪れたのが80名程が犠牲の大川小学校建物は崩れたままで保存されるとのこと今でも裏山に登っていれば最小限度の犠牲者で済んだはずですが。今でも悔やまれる。

日和山公園の被災地

情報交流館の説明



大川小学校



夜の宴会